

特許出願公告及特許拔萃

特許出願公告拔萃

酸化コバルト含有物よりコバルトを抽出する方法 (13年特許公告第 1176 號, 公告 13-3-30, 京都市, 渡邊俊雄) 酸化コバルト含有物に普通不純物として含まる, 鐵分の溶解を防ぎ且低濃度の酸を以てコバルトの溶解を容易ならしめ而もコバルトの抽出率を高からしむるとする目的を以て, 酸化コバルト礦又は酸化コバルトを含む物質に還元性を有する炭素含有物を加へ 400~700°C の範圍内に於て焙焼したる後低濃度の酸にて抽出する事より成る酸化コバルト含有物よりコバルトを抽出する方法。

鍛鍊用高力アルミニウム合金 (13年特許公告第 1177 號, 公告 13-3-30, 大阪市, 住友金屬工業株式會社) 焼入焼戻等の熱處理を施して抗張力殊に耐久力大にして靱性も亦尠なからざる航空機構成用鍛鍊用 Al 合金を得んとする目的を以て Cu 4.00~8.00%, Mg 0.80~3.00%, Cr 0.05~0.50% 殘餘 Al 並に不純物程度の鐵及珪素を含有せる鍛鍊用高力 Al 合金。

金屬チタニウム又は炭化チタニウムの製造方法 (13年特許公告第 1210 號, 公告 13-4-1, 仙臺市, 金屬材料研究所長) 窒素化合物を生ぜしむることなくして難還元性物質たる酸化チタニウムを還元して金屬チタニウム又は炭化チタニウムを比較的容易に得んとする目的を以て, 酸化チタニウムに適量量の炭素質物を加へ良く混合したる物を電弧焰と共存する水素氣流中に於て 1600°C 以上に加熱する事に依り酸化チタニウムを還元する事を特徴とする金屬チタニウム又は炭化チタニウムの製造方法。

アルミニウム又は其合金の防蝕處理方法 (13年特許公告第 1211 號, 公告 13-4-1, 東京市, 日本パーカライジング株式會社) 珪弗化カルシウム, 同マグネシウム, 同マンガン, 同亜鉛等の如き 2 價の金屬の可溶性珪弗化鹽を選択使用すると共に其の溶液中に特に遊離珪弗化水素酸と酸化劑とを共存せしむる事に依り同液中に浸漬處理するアルミニウム又は其の合金の表面に耐蝕性被膜を迅速に厚く生成せしむると共に該生成被膜の質を均一緻密ならしむるのみならず酸化劑の共存に依りアルミニウム又は同合金の各種材質に適應する液の濃度範圍を擴大してアルミニウム又は其の合金の表面に耐腐蝕性に富む優秀堅牢なる被膜を簡單迅速且經濟的に製造せんとする目的を以て, アルミニウム又は其の合金を特に遊離珪弗化水素酸及酸化劑の共存に於て珪弗化カルシウム, 同マグネシウム, 同マンガン, 同亜鉛等の可溶性珪弗化鹽の 1 種又は 2 種以上を含む熱溶液中に浸漬處理して表面に耐蝕性の被膜を密實一體に形成せしむる事を特徴とするアルミニウム又は其の合金の防蝕處理方法。

非又は弱粘結炭より硬質コークス製造法 (13年特許公告第 1238 號, 公告 13-4-4, 川口市, 伴義定, 他 1 名) 従來コークス原料炭として使月不可能なりし非又は弱粘結炭より硬質コークスを低價に製造すべき工業的の方法を供する目的を以て, 非又は弱粘結炭に石炭の略全量を溶劑に溶解せしめ灰分を除去したる溶液より溶劑を驅逐したるものを配合することを特徴とする非又は弱粘結炭より硬質コークス製造法。

銀合金の改良 (13年特許公告第 1239 號, 公告 13-4-4, 仙臺市, 金屬材料研究所長) 銀に比較して遙に高き硬度を有し銀の如く黒變せず遙に耐蝕性高き實用銀合金を得んとする目的を以て, 錫 1~3% Cd 1~3% Ni 1~3% Cr 0.5~3% Al 0~3% Zn 5~10%

殘餘量の銀より成る銀合金。

鉛銅合金製造方法 (13年特許公告第 1240 號, 公告 13-4-4, 大阪市, 松川達夫) 極めて偏析し易き鉛銅合金を容易に均質なる合金として得る目的を以て, 炭素粉, 酸化鉛粉及び銅粉の混和物を適宜なる型に收め加壓固結せしめ之を還元性雰囲気中にて熱處理を施して酸化鉛の還元と焼結を行はしめたる焼結鉛銅合金を直接熔融せしむるか或は之を中間合金として熔融せる銅中に裝入熔融せしめ生成合金の熔融溫度より餘り溫度を上昇せしめず可及的速かに所要型に鑄造することを特徴とする鉛銅合金製造方法。

硬質物工具及其類似品製造法 (13年特許公告第 1241 號, 公告 13-4-4, 神戸市, 株式會社川西機械製作所) 簡單なる機械的操作によりて硬度高く且強靱なる斯種製品を得んとする目的を以て炭化タングステンの如き難熔融性金屬の粉末とコバルトの如き補助金屬の粉末とを混合して壓搾し且加熱して固結すべくせる硬質物の製造法に於て前記補助金屬粉末の含有量を異にする 2 種以上の混合粉末を作りて之を層狀に組合せたる後壓搾成形し燒固する事を特徴とする硬質物工具及類似品製造法。

鉛銅合金製造方法 (13年特許公告第 1276 號, 公告 13-4-6, 大阪市, 松川達夫) 極めて偏析し易き鉛銅合金を容易に均質緻密なる合金として得る目的を以て, 酸化鉛粉, 炭素粉及び粉末狀の熔劑或は精製劑とよりなる均質なる混和物を加壓固結せしめたる固塊を熔融せる銅中に裝入熔融せしめ斯くして得らるる合金の熔融溫度より餘り溫度を上昇せしめず可及的速かに所要型に鑄造する鉛銅合金製造方法。

鉛銅合金製造方法 (13年特許公告第 1277 號, 公告 13-4-6, 大阪市, 松川達夫) 極めて偏析し易き鉛銅合金を容易に均質緻密なる合金として得る目的を以て, 鉛粉及び粉末狀の熔劑或は精製劑とより成る均質なる混和物を加壓固結せしめたる固塊を熔融せる銅中に裝入熔融せしめ斯くして得らるる合金の熔融溫度より餘り溫度を上昇せしめず可及的速かに所要型に鑄造する鉛銅合金製造方法。

鉛銅合金製造方法 (13年特許公告第 1278 號, 公告 13-4-6, 大阪市, 松川達夫) 極めて簡單なる操作を施す事に依り鉛及銅を主成分とし他の金屬の 1 種或は 2 種以上を含有し或は含有せざる合金に鉛の偏析を防止し均質なる組織を與ふる目的を以て, 鉛及び銅を主成分とし他の金屬の 1 種或は 2 種以上を含有し或は含有せざる合金を造る場合に豫め以上の諸成分を熔融し之を鉛と銅が完全に融合せる溫度より金型に鑄造するか其他適當なる方法によりて急激に冷却して得たる合金を再び加熱熔融するか又は之を中間合金として熔融せる銅又は銅中に裝入熔融せしめ斯くして得らるる合金の熔融點より餘り溫度を昇せしめず可及的速かに所要型に鑄造することを特徴とする均等なる鉛銅合金製造方法。

燐鐵合金粉塗料 (13年特許公告第 1281 號, 公告 13-4-6, 福岡縣, 片山龍郎) 乾燥性に富み伸展豊にして極めて優秀なる塗料を最も經濟的に得んとする目的を以て, 鐵 70~90% 磷 5~96% とより成る鐵合金を 10,000 cm 篩目を通過する微粉末となして之を主要顔料となしたる燐鐵合金粉塗料。

アルミニウム又はアルミニウム合金用電氣熔接棒 (13年特許公告第 1295 號, 公告 13-4-6, 千葉縣, 瀧熊之助, 外 1 名) 電極として直流又は交流電流を通し Al 又は Al 合金に對し簡單に且つ強度大なる熔接を遂行せしめ得べき Al 又は Al 合金用電氣熔接

棒を得んとする目的を以て、Al 又は Al 合金棒の周圍に鹽化カリ 85~60 分及び鹽化ナトリウム 15~40 分を接着料と共に混捏し塗着せる事を特徴とする Al 又は Al 合金電氣熔接棒。

潤滑油處理法 (13 年特許公告, 第 1316 號, 公告 13-4-8, 東京市, 小倉石油株式會社) 特定の觸媒を使用することによりて水素添加を普通潤滑油の分解溫度以下にて起らしめ從來の如く潤滑油成分を得る爲めに分溜を爲す如き煩を除去し而も此方法に依り普通の潤滑油を處理して殊に高級潤滑油としての生命の一たる粘度指數の著しく増高せられたる改良潤滑油を容易に得る目的を以て酸化ニッケル水酸化ニッケル或は炭酸ニッケルの如きニッケル化合物と酸化アルミニウム或は水酸化アルミニウムとを共存せしめ之を水素氣中に高温に保ち還元して得らるゝ還元ニッケル及活性化アルミナより成る觸媒を普通の礦物性潤滑油中に添加し溫度 250~300°C 及壓力 30 氣壓以下の下に水素を通して水素添加を行はしむる事を特徴とする潤滑油處理法。

アルミニウム酸化皮膜を不吸水性とする方法 (13 年特許公告第 1317 號, 公告 13-4-8, 鶴田將) アルミニウム酸化皮膜の孔隙内に含浸せる液狀の酸若くは酸性物と該隙内に滲透し來れる高級脂肪酸アルカリ金屬鹽の水溶液との反應により迅速に孔隙内に高級脂肪酸又は其のアルミニウム鹽を填塞せしめて之を確實且簡単に不吸水性とする方法を提供せんとする目的を以て, 電氣分解に依り金屬アルミニウム又は其の合金表面に生成せられたる孔隙内に酸性液を含浸せる多孔質酸化皮膜を水溶性の高級脂肪酸アルカリ金屬鹽の水溶液中に浸漬又は浸漬加熱することを特徴とするアルミニウム酸化皮膜を不吸水性とする方法。

減摩油の改良法 (13 年特許公告第 1340 號, 公告 13-4-11, 獨乙國, ルールヘミー, アクチエンゼゼルシヤフト) 極めて有利に減摩油の粘性を改良をせんとする目的を以てプロピレン或はプロピレン及びエチレンを含有するガスの重合が 0°C 以下なる低溫度に於て行はるゝ事を特徴とし場合に依り反應促進性物質或は又反應遲延性物質の添加の下に於てエチレン及プロピレン含有ガスを重合劑例へば鹽化アルミニウム, 鹽化鐵, 鹽化亞鉛, 弗化硼素等を以て處理する事に依り得らるゝ重合生成物の添加に依る減摩油の改良法。

硫黃析出裝置 (13 年特許公告第 1341 號, 公告 13-4-11, 東京市, 走出忠太郎, 外 1 名) 硫黃礦石を微細に粉碎し硫黃分を容易に溶解せしめて最も率良く硫黃を析出せんとする目的を以て下方の側に於て連通せしめたる靜置室を備へ下層に 2 硫化炭素を充滿し上層に水を滿したる溶解塔の内部下方 2 硫化炭素層中に於て一方を内壁に固定し他方を之に擦り合ひ外部より驅動せらるゝ軸に固定せる硫黃礦石摺擦輪を裝置すると共に是又溶解塔の内部に架設せられ外部の驅動を享けて緩かに廻動する數個の溝車に縦に長く環狀に懸關せしめたる下底を掻き揃ふべき多數のバケットを取付けたる鎖條を上層水中に維持せしめて之が口先を摺擦輪の孔に臨ましめたる漏斗上を廻送すべくなしたることを特徴とし溶解塔の上方開放口より硫黃礦石投入漏斗と注水管を垂下し又 2 硫化炭素中に 2 硫化炭素給送管を挿入し泥水排出管を水中より取出し且前記靜置室より誘導管を通して引出したる硫黃 2 硫化炭素溶液は之を加温裝置を施したる 2 硫化炭素蒸溜室に於て硫黃と分離すべくなしたる硫黃析出裝置。

金屬と減摩性物質の結合體生成方法 (13 年特許公告第 1342 號, 公告 13-4-11, 京都市, 伊藤善一) 金屬體に減摩性を保有せしめて減摩劑の供給を困難とする如き機械の摩擦部分の材料に應用し

て強靱性と減摩性を保有する金屬性材料を得んとする目的を以て熔融狀態となしたる金屬 (Cu, Fe, Pb, Sb, Zn, Al 並に其等金屬の孰れか一つを主成分とする合金) の 1 種を 60% 以上の割合を以て減摩性物質 (黒鉛, 無定形炭素, 滑石, モビール油, マシン油, 潤滑グリース) の 1 種又は其れ以上と共に壓縮氣體によりて噴射し微細粉狀の兩物質を夾錯混淆せしめ噴射壓力によりて相互を密着凝結せしむることを特徴とする金屬と減摩性物質の結合體生成方法。

マグネチックチャックを應用せる鑄型製造方法 (13 年特許公告第 1374 號, 公告 13-4-13, 東京市, 財團法人理化學研究所) 比較的大型にして肉薄き圓又角等の筒狀物體又は渠篋等の集成鑄型を極めて容易に製造せんとする目的を以て, 數箇に分割せる鑄型を重合して集成鑄型を形成する場合に於て下位鑄型上に之に隣接せる上位鑄型を重合したる後鑄型上にマグネチックチャックを持來らしめ所要鑄造物の一部分及湯道等の注湯空間形成部材より成る感磁性原型を鑄型より其直上方に吸着離脱すべくなしたる事を特徴とするマグネチックチャックを應用せる鑄型製造方法。

壓搾用原型製造法 (13 年特許公告第 1375 號公告 13-4-13, 東京市, 齋藤喜久夫, 外 1 名) 安價に壓搾原型を製造せんとする目的を以て, 石膏或はガタパーチャにて陰型を取り該陰型の表面に鐵鍍金を施したる後前記陰型を除去し鐵鍍金層の裏面より熔融鐵を流込み冷却凝固せしむることを特徴とする壓搾用原型製造法。

特殊鋼板スチールの除去方法 (13 年特許公告第 1419 號, 公告 13-4-15, 東京市, 日本製鐵株式會社) 操作中惡臭ガスの發生を防止し鋼板地肌を損傷すること尠く短時間に於て容易に且つ完全にスケールを除去する目的を以て珪素鋼板, 不銹鋼板或は耐熱鋼板の如き特殊鋼板を鹽化加里の抑制劑を適量溶解したる稀薄硝酸溶液に浸漬し液温を 60~80°C に高めて洗滌することを特徴とする特殊鋼板スケールの除去方法。

酸化鉛防錆塗料製造法 (13 年特許公告第 1431 號, 公告 13-4-15, 東京市, 齋藤定藏) 從來の酸化鉛塗料は耐海水性微弱にして又永く貯藏する時は固化或は顏料沈降等の如き缺點あるを以て本發明により安價にして且長期間貯藏するも何等固化變質することなく然も特に海水中にて耐久力強大なる酸化鉛防錆塗料を製造する目的を以て, チクロペンタジエーン, スチロール及ナフタレンの混合重合體の硫化物, 硫鹽化物又は鹽化物を主體とし之にアスファルト又はピッチを加へたるものを溶劑に溶解してベヒクルとなし之を 1 酸化鉛 (リサーチ) と練捏することを特徴とする酸化鉛防錆塗料製造法。

フォルステライトを多量に含有するマグネシア煉瓦製造法 (13 年特許公告第 1449 號, 公告 13-4-18, 八幡市, 下井勇) フォルステライトを多量に含有するマトリックスを以てペリクレス結晶を包ましめ且マグネシアと酸化第 1 鐵との固熔體を生成せしめ化學的に強固なる一體となしスレーキング性及スポーリング性に對する抵抗を強大ならしめ尙強鹽基にして接觸する鹽基性他物質と高溫度に於て化學作用に依る損傷を可及的僅少ならしむべき品質優良なるマグネシア煉瓦を經濟的且容易に得んとする目的を以て, マグネシア, クリンカー及鹽基性平爐鋼滓の混合物にゼン岩を添加する事を特徴とし之を適當なる粘結劑にて成型, 乾燥し 1,400°C 以上の火度にて焼成することより成るフォルステライトを多量に含有するマグネシア煉瓦製造法。

マグネシアを含有する鑄造耐火物 (13 年特許公告第 1450 號, 公告 13-4-18, 東京市, 旭硝子株式會社) 耐火性を低下せしむ

る事無くして多孔性ならざる耐火性材料を得んとする目的を以て20~55%のマグネシアと12~18%の無水珪酸と30%よりも少なからざるアルミナとを含有する鑄造耐火物。

蹄釘製造機 (13年特許公告第1482號, 公告13-4-20, 静岡縣丸野森平) 方形断面の釘頭を有する蹄釘の各部に於て金屬組織纖維を捻ぢれざる状態にて縦に並行せしめて特に釘頭の角稜と釘脚の角稜と縦に正確に連続せしめて整形且強度大なる蹄釘を簡易に得る目的を以て、線金を挿通すべき圓形断面の案内直孔に直狀に連通せる方形断面の案内直孔に直角に交叉せしめて其の内部に一部臨ましめたる壓轉子を1組宛案内直孔の上下及左右互に並べて軸架し線を上下左右に壓搾し各壓轉部を同一迴轉速度にて迴轉せしめて線金を前方に送るべく成し案内直孔の前端に其の角稜に對稱的に連続せる角稜を形成する様正梯形側面にて形成したる方形断面の截頭錐形孔を設け該截頭錐形孔内に線金の突出する様送られたる位置に於て案内直孔内にて線金の方形断面部を押壓片により間歇的に押壓固定せしめて方形端面を有する打撃具にて線金の前端を打撃して線金の方形断面部の角稜を截頭錐形孔の角稜にて釘頭の角稜と成す様型成すべく成したる蹄釘製造機。

金屬條片寒冷延軋裝置 (13年特許公告第1513號, 公告13-4-22, 亞米利加合衆國, ゼ, アメリカン, ローリング, ミル, コムパニー) 處理條片上に所要の張力を一定に維持し連續延軋を行ふ目的を以て、1列に配置せる數多の寒冷延軋機と列中の最終延軋機以外に存し之より以前にある延軋機中の條片の進入及排氣出部間の張力差の和より小ならざる張力を延軋中の條片に加へ得る索引裝置と索引裝置及最終延軋機の間及延軋機間にありて此等機械間にある條片の長さに応じ其機械の速度を變化し一定力の下に條片を受入るゝ裝置を備へ牽引裝置は延軋の方向に於て張力差の總和の正值を維持する金屬條片寒冷延軋裝置。

連續式金屬マグネシウム電解製造法 (13年特許公告第1522號, 公告13-4-22, 東京市, 旭電化工業株式會社) 斯くの如く鹽化マグネシウムの製造と電解とを同時且つ並行的に行はしむることに依り鹽化マグネシウムの熔融に要する熱を節約し電解操作及裝置を著しく簡略ならしめ既知の方法の如く別に鹽化マグネシウムを製造し之を溶解添加して電解する場合に比し而も實驗上電解を著しく容易ならしめ、且つ其の能率ならしむる目的を以て、電解室と鹽素化室とを擴散通路を有する隔壁に依りて直結せしめ該鹽素化室内に熔融鹽を容れ之に鹽素化を受くべきマグネシアを供給し同時に還元劑たる炭素質物或はI酸化炭素の如きガス體を共存せしめ鹽素ガスを吹込みマグネシウム化合物を鹽素化することに依り鹽化マグネシウムを製造し之を前記の擴散通路を経て電解室内に液面の低下に依り連續的に給與しつゝ電解し以て鹽化マグネシウムの製造と其の電解とを同時に並行して行はしむることを特徴とする連續式金屬マグネシウム電解製造法。

珪酸質ニッケル鑄よりマグネシウムを含有せざる状態に於てニッケルを取得する方法 (13年特許公告第1523號, 公告13-4-22,) 簡單なる操作を以て實收率よくMg含有せざる状態に於てNiを取得せんとする目的を以て、珪酸質ニッケル鑄を鑄酸或は金屬鹽を形成すべき他の物質例へば鹽素其他を以て處理して得たる多量の不純物を含有するNi抽出液を其の第一鐵を酸化するに足る量の酸化劑を以て處理して鐵を全部第2鐵となしたるものに後の工程に於て得たるアルカリ物を添加して鐵を水酸化第2鐵の形に於て及びAlを水酸化アルミニウムの形に於て沈澱除去し更にNiを完

全に沈澱せしむるに足る量のアルカリを以てNiを水酸化ツケルの形として沈澱しMgを多量に含有する母液と分つ如き公知工程に於る沈澱物を炭酸を以て處理し其の少量含有するMgを溶出し殘渣より純粹なる水酸化ニッケルを得ると共に溶液は前工程中の鐵及びAlの沈澱に對して使用し循環すべくせざる事を特徴とする珪酸質ニッケル鑄よりMgを含有せざる状態に於てNiを取得する方法。

鍍に含まるゝニッケル及銅のソーダ分離の改良法 (13年特許公告第1524號, 公告13-4-22, 東京市, 小室靜夫) ソーダ化合物の無益なる消失爐材の浸蝕を防ぎ且金屬及酸化物を硫化物とする事に依り分離を一層完全にし完全なる鐵分の除去を行ふ目的を以てニッケル銅鍍のソーダ分離に際し原料中のCu, Ni及鐵分が全部硫化物を作るに不足する丈の單體硫黃を補加しソーダ分離を行ふ方法。

鍍中のニッケル及銅分のソーダ分離の改良法 (13年特許公告第1525號, 公告13-4-23, 東京市, 小室靜夫) 硫化ニッケルは硫化ニッケルに比し比重重く且硫化ソーダ中に熔解し難き性質を利用しNi及Cu分の分離を完全ならしむる目的を以て、ニッケル銅鍍を硫化ソーダ(其の儘或は硫酸ソーダより還元したる)を使用しCu, Ni分を分離するに際し砒素或は砒化合物又硫黃不足する時は硫黃を加へ兩金屬を分離する方法。

濕式鑄滓綿回收裝置 (13年特許公告第1534號, 公告13-4-22, 東京市, 日本製鐵株式會社) 比較的簡單なる裝置により鑄滓、綿織經を折損せしむる事なく廢棄鑄滓綿中に混入する粒狀鑄滓を容易に分離し優良なる鑄滓綿を經濟的に回收せんとする目的を以て、2個或は數個の連續せる水槽中に於て各々其の中心に重ならざる様上下2段に扇子型の羽根を多數組合せたる攪拌機を有し攪拌機の上下運動と共に羽根は水中にて適當なる一定角度を保持しつゝ上下に動搖し絶へず槽中の水に螺旋運動を誘起せしめ下端側面に設置せる給水管の水量調節により螺旋運動の速度及旋回上昇水流の速度を夫々適當に調整し攪拌並に梳洗作用により鑄滓綿纖維を折損せしむることなく容易に脱粒する如く構成せる鑄滓綿回收裝置。

特許抜萃

特許番號	名 稱	特 許 權 者	公告抜萃 掲載本誌
123,945	打板後に於る電氣鐵板の燒鈍方法	株式會社芝浦製作所	第23年第12號
124,025	アルミニウム又は其の合金に黑色を附する方法	正 木 康 作	" 第11號
124,035	廻 轉 爐	メタルゲゼル, シヤフト, アクチエンゲルシヤフト	" 第12號
124,074	時效硬化性銅合金	金屬材料研究所長	な し
124,106	亞酸化銅整流器素體製造方法	インターナショナルスタンダード, エレクトリック, コーポレーション	な し
124,125	粘結性石炭の低温乾燥裝置	三 村 省 三	第24年第1號
124,126	蛇紋石よりニッケルを抽出する法	樋 口 喜 六	第24年第1號
124,129	隧道型内外熱式コークス爐	日本石油株式會社	第23年第12號
124,140	マグネシウム及び其合金の精製法	航空研究所長	第24年第2號
124,173	貧鐵鑄石濕式選鑄法	株式會社昭和製鋼所	第24年第1號
124,183	硫化鑄土硫黃混合鑄石焙燒法	高 木 陸 雄	第23年第11號
124,221	黃金張附法	山 本 勇 三	